



4月11日 芳賀東小学校入学式

No. 163 

2017年5月1日発行

議会だより

はが

3月議会定例会

定例会の概要	2～7
一般質問	8～11
政務活動費報告	12
聲<こえ>私のいいたいこと	13
議会日誌・表彰・編集室	14

特別会計48億4,070万円

定例会の要 定概

平成29年第1回芳賀町議会定例会が3月2日から16日までの15日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、人事案件を採決しました。一般質問は第5日目の3月6日に行われ、3人の議員が町政について質問しました。第6日目に平成29年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第7日目に平成29年度予算の質疑を行った後、予算の審査を常任委員会に付託しました。最終日に平成29年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

将来像実現のための

さまざまな取り組みを加速

平成29年度の予算総額は121億4070万円です。前年度に比べ900万円の減となりました。

一般会計歳入歳出の総額は73億円で、前年度に比べ4億700万円の減、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計歳入歳出の予算総額は、48億4070万円です。前年度に比べ3億9800万円の増となりました。

歳入の根幹をなす町税は、工業団地立地企業の積極的な設備投資などにより、固

定資産税の増収が見込まれるものの、法人町民税の伸びが見込めない状況にあります。

歳出は、LRT整備事業や芳賀高校跡地の宅地造成事業、祖母井市街地整備事業などの中長期の大型事業が本格的に展開し、多額の支出が予定されています。

また、町有施設の経年劣化による修繕費や国民健康保険・介護保険などの社会保障関係経費が増大することから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況

が続くと見込まれます。

本年度は、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次

芳賀町振興計画及び芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略の2年目となり、将来像実現のためのさまざまな取り組みが実施されます。

■平成29年度各会計予算

会計名		予算額
一般会計		73億円
特別会計	国民健康保険	23億2,400万円
	農業集落排水事業	1億8,500万円
	芳賀工業団地排水処理センター	5,010万円
	介護保険（保険事業勘定）	13億8,100万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	470万円
	公共下水道事業	3億円
	祖母井南部土地区画整理事業	3,250万円
	宅地造成事業	4億2,440万円
	後期高齢者医療	1億3,900万円
合計	121億4,070万円	



平成29年度予算を

一般会計73億円

話題をつなげる



- ・農産物ブランド化の推進 272万円
- ・北部第2地区ほ場整備事業の調査計画 1,897万円
- ・道の駅農産物直売所の機能強化 1,753万円
- ・商店街等活性化補助金 100万円

笑顔をつなげる



- ・芳賀赤十字病院建設事業費負担金 4,370万円
- ・子どもの居場所づくり事業 8万円
- ・地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置 351万円

地域をつなげる



- ・自治会活動などの支援 1,466万円
- ・消防団員の装備の改善・充実、防災士の資格取得 229万円
- ・消防団詰所改修工事 648万円



平成29年度の主な事業内容



- ・芳賀高校跡地の宅地造成工事 4億2,369万円
- ・LRT整備費 2億2,223万円
- ・祖母井中部市街地整備 2,883万円

便利をつなげる



- ・ALTを各小中学校に配置 1,607万円
- ・中学生のイングリッシュキャンプ 26万円
- ・教育支援センター設置など教育相談費 503万円

教育をつなげる

平成29年第1回芳賀町議会定例会提出議案

選任同意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成29年3月31日付で任期満了となる芳賀町固定資産評価審査委員会委員の杉田仁氏（下高根沢）が、引き続き最適任者として議員全員の同意により選任されました。



▲杉田 仁氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について

原田幹也氏の後任として、荒井俊夫氏（西水沼）を最適任者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。

なお、原田氏には、9年間にわたりご尽力いただきました。



▲荒井俊夫氏

条例改正

□芳賀町税条例等の一部改正について

内容 地方税法等の一部改正に伴い、町税条例等の一部を改正するもの。①個人住民税における寄付控除の適用範囲について、寄付行為の対象となる法人又は団体の所在の規定を「県内」から「町内」に改めるもの。②消費税率の引き上げが平成31年10月1日に変更となったことに伴い、個人住民税における住宅ローン控除適用期限の延長や軽自動車税

のグリーン化特例の適用期限の延長、法人税割の制限税率引き下げ時期の延期などについて規定するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について

内容 地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税条例の一部を改正するもの。現在81万円の国民健康保険税の賦課限度額を、医療分で3万円、後期高齢者支援金分で3万円、介護納付金分2万円、合計8万円を引き上げ、89万円とするもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

小林一男議員

(討論なし、原案可決)

□芳賀町介護保険条例の一部改正について

内容 消費税の引き上げが平成31年10月1日に変更となったことに伴い、介護保

険条例の一部を改正するもの。①平成27年度から平成28年度までの保険料率の第1段階の軽減について平成29年度まで継続する。②介護保険法施行令の一部を改正する政令が平成29年4月1日に施行されることに伴い保険料率について平成29年度のみの特例を設けるもので、65歳以上の第1号被保険者の保険料の算定に用いる合計所得金額について、現在、土地等を譲渡した場合、税法上の特別控除が適用されていないことから、租税特別措置法に規定される長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

部改正について

内容 個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正等に伴い、

□芳賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

2つの条例の一部を改正するもので、町独自にマイナンバーを利用する場合において、情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携を可能とするもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

内容 地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、育児休業に係る子の範囲の拡大、介護休業制度の拡充について改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

内容 地方公務員法の改正に伴い、フレックスタイム制度に対応するための条項などを追加するほか「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」及び「地方公務員の育児休業等に関する法律」等の改正に伴い、育児休業制度の拡充などについて改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について

内容 地方公務員法の改正に伴い、根拠条項を改正し、配偶者同行休業の期間延長についての条項を追加するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□単純労働職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

内容 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」等の改正に伴い、育児に係る子の範囲の拡大、介

護休業制度の拡充について改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

□「道の駅はが」の中に

ある芳賀町ふるさと交流体験センター「友遊はが」のテナント料金を変更するため、条例の一部を改正するもの。

「友遊はが」のテナント料金は、1平方メートル当たりの月額基本利用料金と月額売上に対する歩合利用料金の2種類で構成されており、芳賀町光の道ネットワーク施設の利用料金の割合は、売上額に応じて2段階に設定されている。今回の改正は、テナント料金の歩合割合3.5%を廃止し、2.5%のみにするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町商業集積地共同店舗設置及び管理に関する条例の一部改正について

現在、「モテナス」の

テナント料金は、1平方メートル当たりの月額基本利用料金と月額売上に対する歩合利用料金の2種類で構成されている。出店者の販売促進や販売意欲の向上のため、テナント料金を基本利用料金のみとするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町光の道ネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

放送法に基づいて文言を「再送信」から「再放送」に変更するとともに、芳賀町光の道ネットワーク施設のサービス名「デジタル基本」を「B.S.パスルー」に、「ひかり多チャンネル」を「デジタル多チャンネルプラス」に変更するもの。

また、サービス名の変更に伴い「テレビ利用料金」及び「インターネット利用料金」を変更するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に1億3191

万8千円を追加し、予算総額を80億616万2千円とするもの。

治雄議員

□平成28年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額に1億976万7千円を追加し、予算総額を23億7241万6千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

総額に170万円を追加し、予算総額を1億9343万3千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)

総額から860万円を減額し、予算総額を7800万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)

保険事業勘定は総額に2652万9千円を追加し、予算総額を13億7485万円とするもの。介護サービス事業勘定は総額に308万2千円を追加し、予算総額を1418万2千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額の増減はなく、歳入予算を組み替えるもの。

総額から797万9千円を減額し、予算総額を2億9032万1千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

総額に2150万6千円を追加し、予算総額を9420万6千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)



※数字は議席の番号です

平成29年度 一般会計予算 特別会計予算の主な質疑

答 ことも育成課長 平成28年12月に成立した「教育機会確保法」を基に、不登校の児童生徒が学校以外で学ぶことができるように支援するものです。学習の重要性や児童生徒の学校復帰に向けて環境整備を行います。

問 北條 勲 議員
防災士資格取得負担金について伺う。

答 総務課長 防災士の育成を目的に職員の中で消防団に入っている3名と消防団本部から1名を予定しています。

問 岩村治雄 議員
空き家対策協議会の設置について伺う。

答 都市計画課長 空き家の認定基準や判定にあたっての町民の立場や専門的な立場の方の幅広い意見を求めるために協議会を設置します。

問 岡田年弘 議員
芳賀町企業立地促進事業費補助金の内容について伺う。

答 商工観光課長 企業が新規に工場を建設・増築した場合に固定資産税や都市計画税に相当する額を補助するものです。

問 大根田弘 議員
町民会館の防犯カメラの設置箇所について伺う。

答 生涯学習課長 正面玄関と南側入り口の計2カ所に設置します。不審者の侵入防止に役立つと考え、同時に防犯カメラ設置中と

問 杉田貞一郎 議員
中学2年生を対象としたイングリッシュキャンプは30人を2回の60人を募集するということが、2年生全員を受け入れるのではないのか。

答 教育長 1回30人の募集があった場合は可能と予定していますが、全員の受け入れというわけにはいきません。

問 水沼孝夫 議員
教育支援センターの開設について伺う。

問 大根田周平 議員
県営建設事業負担金1千728万5千円の内容について伺う。

答 農政課長 基幹水利施設ストックマネジメント事業（芳賀台地、鬼怒中央の土地改良整備）と農山漁村地域整備交付金（打越新田の土地改良整備）に伴う町の負担金です。

問 小林隆志 議員
結婚支援活動支援事業交付金について伺う。

答 生涯学習課長 芳賀町とちぎ結婚支援センター登録補助金要綱の規定に基づきとちぎ結婚支援センター登録料の二分の一を補助します。

問 大島 浩 議員
農産物直売所を核とした小さな拠点づくり整備事業について伺う。

答 農政課長 道の駅の農産物直売所が近年売り上げが低下していることを受けて、その改善を目的として取り組むものです。県の事業が対象で、ソフト事業に対し2分の1、ハード事業においては10分の4の補助金が受けられます。

問 小林信一 議員
食肉センター補助金の出資金500万円について伺う。

答 農政課長 運営費にかかわる出資金です。県内市町の合計が1億5千万円で、当該市町の家畜の等数割りで金額が決まります。牛1頭で豚4頭換算になっており、芳賀町は5989頭、県内の豚の頭数が951432頭、これを割ると県内に占める割合が0.63%となり、負担割合が1%未満で500万円ということになっています。

問 石川 保 議員
祖母井保育園の病後児保育の実態と今年度の見込みを伺う。

答 ことも育成課長 町民の方からの要望にお応えし、病気のあと若安静を必要とするお子さんをお預かりしているものです。平成29年度は延べ6人程度を見込んでおります。

問 小林俊夫 議員
備品の管理について伺う。

答 会計課長 備品台帳で管理しています。財務規則に基づき、各課に整理・保存してあります。

問 小林一男 議員
農産物直売所を核とした小さな拠点づくり整備事業の中で精米機の導入が計上されているが、この活用方法について伺う。

答 農政課長 現在直売所で販売している米の精米は、茂木町にあるJAはが野の精米所を使っていますが、これを直売所内でできるようにするものです。今後JAと話しながら販売方法についても検討し、精米機の有効活用を図っていきたいと考えています。

常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は3月9日から15日まで平成29年度芳賀町一般会計予算及び特別会計予算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月16日の本会議において意見を付して予算を認定しました。

総務常任委員会

□書類審査（3月10日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員事務局

□現地調査（3月14日）

消防センター（1-2、3-4）、農業者トレーニングセンター

①審査の意見または特に留意すべき事項

①経常収支比率が上昇傾向にある中、大型事業が予定されていることに鑑み投資的経費を抑制した予算は評価できる。適正な予算執行、収納率向上により財政の柔軟性を確保できるよう努められたい。

②洪水ハザードマップ作成にあたっては、地域実情を加味し町民の防災減災に役立つものとされたい。



▲書類審査



▲現地調査

教育民生常任委員会

□書類審査（3月8日、10日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（3月14日）

総合情報館、芳賀中武道館、防犯カメラ（工業団地内）、障害児者相談支援センター（市貝町）

①審査の意見または特に留意すべき事項

①要支援・要介護の予防とともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するための地域支援事業に取り組んでいるところである。

②医療機関、介護サービス事業者との連携のもと、在宅医療・介護連携推進事業についても平成30年4月からの実施に向けて取り組まれ、地域包括ケアシステムの構築に努力されたい。

③教育民生常任委員会所管の関係各課には保育士、学芸員、司書など多くの専門職で嘱託職員や臨時職員が多い現状である。安定的に高度な住民サービスを提供するために、正職員を配置するよう配慮されたい。



▲書類審査



▲現地調査

産業建設常任委員会

□書類審査（3月10日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（3月14日）

芳賀高校跡地造成状況、食肉センター整備状況、稲毛田社后（梨栽培）、銭時線、久津方・河井線、遊水地、飯島・上横西線、友遊はが

①本町は線引きによって大きな人口ロスが生

じており、線引きの意味が問い直されている。将来世代に禍根を残さぬよう中長期視点での人口ビジョンに対する根拠として自然減と世帯あたりの人数の減少をもとに、必要な住宅ストックを求めて整備していく必要がある。芳賀高校跡地以後の大幅な住宅ストック増を見込めないため、早急な土地利用計画の見直しと線引き見直しへの対応を強く求める。

②道の駅やモテナス商業集積地においても営業スタイルや施設の経年劣化が目立ち、本町の商業の将来像が見出せなくなっている。既存の商業施設の更新や、個々の商業者、商店街の意欲的な販促活動を支援し、地元購買率を高めていくことが重要である。区画整理や地区計画によるミニ商業集積地の配置や消費者、地域、商工会と連携して新たな芳賀町商業ビジョンの作成をされたい。

③工業団地内街路樹及びサクラ・ケヤキ等伐採剪定について、芳賀町のシンボルである木「げやき」は町木として昭和52年に制定され、一方芳賀工業団地内の桜並木は憩いの場としても栃木県内において大変有名であり、それぞれ価値ある存在である。今後LRTとも鑑み、周辺環境とあわせ街路樹の維持管理等については、町としてのその方向性と在り方を明確にするよう努められたい。



▲書類審査



▲現地調査

ここが聞きたい 3人の議員が一般質問

一般
質問

第5日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



石川 保 議員 (9ページ)

- ① 地域公民館の整備事業補助について
- ② 若者定住促進町営住宅の建設について



水沼 孝夫 議員 (10ページ)

- ① 受動喫煙防止に対する取り組みについて
- ② 食の安全・安心と食育について



小林 隆志 議員 (11ページ)

- ① 転換期における町農業政策の方針について
- ② 高齢ドライバーの交通事故対策について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は6月2日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から

地域公民館の整備事業補助について

若者定住促進町営住宅の建設について

一般質問

問 芳賀町には地域公民館が103か所あり、そのうち50戸未満で構成している地域公民館は86か所ある。その公民館のほとんどが30年経過していると思われるが、建設費の大きさに個人負担は多額になり無理があり、特に50戸未満の小さい公民館にとって使い勝手が悪いという声があります。改修費50万円を超えないと使えないのは、少ない組織戸数で負担できる限度を超え、改修費としてはほとんどが対象にならないのが現状であり、補助対象金額条件を下げるべきではないか

伺う。
答 町長 地域公民館は地域の力で建設されたものであり、補助対象条件を下げることは、財政上難しいと考えています。
問 地域公民館整備事業補助金の上限については、戸数に合わせた見直しが必要ではないか。特に50戸未満の組織戸数については、事業費の上限金額や補助率50パーセントの条件をもっと高く設定すべきではないか伺う。
答 町長 芳賀町の補助率は他市町村と比較しても適正と考えています。

問 芳賀町は第6次振興計画の中で将来人口の位置づけを下方修正し、減少やむなしという印象である。少子化対策、人口減少対策等他市町村より先進的に実施していると思うが、更に具体的な対策が必要だと思ふ。
芳賀工業団地従業員向け限定で町独自定住促進の町営住宅の建設を提案する。入居条件として、芳賀工業団地の会社に勤務していること、さらに若年層を対象とする、そして地元自治会に加入してもらう、更に消防団に加入、そのすべてをクリアしたものは、家賃の割引をする等、まずはいかに芳賀町に住んでもらうか知恵を出し合わないといけないと思うがどうか伺う。
答 町長 賃貸住宅の新設が必要になってきた場合には、芳賀工業団地連絡協議会等を通して需要を把握するとともに、祖母井地区、下原地区など、今後ま

ちづくりににおいて民間開発を誘導できるような用地の確保など検討していきます。



石川 保 議員



▲下高中郷公民館 築50年 組織戸数28戸



水沼 孝夫 議員

食の安全・安心と食育について

問 日本で消費される食品の約40%が輸入され、輸入食品には日本で禁止されている農薬や添加物の使用がされている。また、環境ホルモンの原因となっているのは、科学物質であり、私たちは知らない間に大量に摂取している。環境ホルモンは、知能低下・学力障害・アレルギーなど、人や生物に悪影響を及ぼす。芳

賀町は学校給食に地産地消を取り入れた食育を推進しているが、近年少子化にも関わらず、児童生徒の発達障害等の割合が増加している。食育の観点から町の取り組みを伺う。

答 教育長 栄養教諭・栄養士による給食献立会議を毎月開催し、献立の作成確認を実施しています。給食の肉類はいずれも国内産で、食材に対する安全は確保されています。学校給食における安全・安心な食材の確保に努め、地産地消の拡充に取り組んでいきたいと思っております。

問 子どもは脳や神経が発達途中のために神経毒性の農薬の影響を受けやすい。残留検査をしているから安全だとされたが、世界中が使用禁止にしている農薬の残留基準を日本は大幅に緩和した。米は2倍、野菜は10倍に引き上げ、国民の健康より経済優先、農薬会社の利益を優先するよう

答 町長 食の安全・安心な政策は間違っている。町長の見解を伺う。

問 食の安全・安心というの重要な課題であり、町でできる部分をしっかりとやっていきたいと思っております。

受動喫煙防止に対する

取り組みについて

問 東京オリンピックは「たばこの無いオリンピック」を推進している。国も受動喫煙対策を盛り込んだ健康増進法改正を示し、悪質な違反には罰金を科すとしている。町の受動喫煙防止の認識と対策について伺う。

答 町長 芳賀町公共施設における受動喫煙防止条例を制定し、公共施設の分煙、禁煙を明示、利用者の受動喫煙防止を図っています。また、子どもたちが関係する保育園、幼稚園、

小中学校は敷地内禁煙としています。その他不特定多数が利用する場所は、各施設の管理者に努力義務が課せられています。町としては、未成年、妊婦の喫煙防止を第一に、喫煙防止教育と喫煙害の知識の普及啓発を更に進めていきます。第二に、公共施設の受動喫煙防止の徹底を図るため、未対策の地域公民館の分煙を地域公民館長連絡協議会と協議し、普及啓発に取り組みたいと思っています。

問 たばこの煙には約700種類の化学物質が含まれている。発がん性物質の値は主流煙に比べて副流煙は2倍から129倍の危険性がある。周りで煙を吸っている人のほうが非常に危険であるということを理解していただきたいがどうか伺う。

答 町長 庁議等で受動喫煙に対する知識をどう町民に啓発するか、より具体的に資料等も踏まえて検討していきたいと思っております。

合計6,803人

受動喫煙に起因する肺がん・虚血性心疾患による日本での年間死亡数

(2004年データ)

受動喫煙を受ける場所	疾患	男性	女性
		家庭	肺がん 201人
	虚血性心疾患 206人	1,640人	
職場	肺がん 448人	340人	
	虚血性心疾患 1,366人	1,471人	

転換期における町農業政策の方針について

高齢ドライバーの交通事故対策について

問 国の農業政策の抜本改革により、平成30年度から米の生産調整が撤廃され、農業者は自らの経営判断に基づく作付計画に移行することになる。農業者の高齢化が進む中で、担い手への農地集積等、農業基盤構築のための施策について伺う。

答 町長 平成28年度に新たに利用権を設置した農地面積は75haになり、この傾向は今後もますます増加すると考えます。特に約3割を占める70歳以上の農業経営者が今後5年以内には農業経営をやめてしまう可能性が高く、その方々の農

問 地を担い手に集積していく必要があります。農地集積については、20ha以上の大規模経営体の数を平成31年度に35経営体とすることを予定しており、法人化を推奨し、経営の安定化と所得向上を図ります。

答 町長 米作付面積1反あたり75000円の直接支払交付金は30年度産米から廃止になります。麦・飼料用米などの転作にかかわる交付金は維持されますが、予算の配分の権限が国

問 国は米政策の改革によって、各種交付金の制度はどのように変わるのか伺う。

答 町長 当地域は、集落営農の現状と展望について伺う。

問 集落営農の現状と展望について伺う。

答 町長 当地域は、集落営農の取り組みが県内でも遅れていましたが、最近になって稲毛田や北部第2地区の中で勉強会が始まったところです。地域の課題を解決するための一つの手段と位置付け、平成29年度から地域座談会等を開催してまいります。

問 町農業公社の機能強化について伺う。

答 町長 遊休農地の解消を目的として農地を貸せる状態にするための支援や、離農したあとのパイプハウスや農機具の貸し出し、あるいは、農地中間管理事業を活用した利用権設定の仲介などを強化したいと考えています。理事会や評議会に上程し検討していきたいと思えます。

問 連日のように報道される高齢者関連の事故により、全国的に運転免許証の自主返納者が増加していると聞く。町の自主返納者数の推移はどうなっているか伺う。

答 町長 警察署から聞いた昨年のデータでは、真岡警察署管内では224人、芳賀町では25人の方が自主返納しております。

問 自動運転システム車や誤発進防止装置を利用した講習会の開催について伺う。

答 町長 現時点では、先進機能に特化した講習会を実施する考えはありませんが、このような車が増加することによって交通事故の減少が期待できますので、高齢者向けの交通安全教室等で説明をしていきたいと思えます。一昨年、中学校で実施したスクエアードストレートという講習会が

非常に好評だったことも踏まえ、今後要望が高くなってきた場合には、高齢者向けの体験型講習会のあり方について検討していきたいと思えます。

一般質問



小林 隆志 議員



▲春の交通安全街頭啓発活動

平成28年度政務活動費の各会派収支報告

政務活動費は、各会派及び議員が町政の課題及び町民の意見を把握し、町政に反映させるための調査研究等の活動に要する経費に対して交付されます。議員1人あたり年額12万円を限度に交付しています。

平成28年度の活動と収支を報告します。

芳賀政友会

所属議員 小林 信二、大島 浩、杉田貞一郎、小林 俊夫、小林 一男、大根田周平、岡田 年弘

交付額 840,000円

支出額 733,130円

支出内容 視察

- ・子育て支援施策の充実について（北海道松前郡福島町）
- ・積極的な移住受け入れ施策について（北海道二海郡八雲町）
- ・伊勢市中心市街地活性化基本計画について（三重県伊勢市）



▲伊勢市での視察の様子

自由の会

所属議員 北條 勲

交付額 120,000円

支出額 113,980円

支出内容 視察

- ・子育て支援施策の充実について（北海道松前郡福島町）
- ・積極的な移住受け入れ施策について（北海道二海郡八雲町）
- ・伊勢市中心市街地活性化基本計画について（三重県伊勢市）



▲整備された伊勢の街並

志友会

所属議員 小林 隆志、岩村 治雄、増渕さつき、大根田 弘

交付額 480,000円

支出額 225,672円

支出内容 視察

- ・「富山型デイサービス」の取り組みについて（NPO法人にぎやか）
- ・LRTの運営状況について（富山地方鉄道株式会社）
- ・水素リーダー都市プロジェクトについて（福岡県福岡市）



▲富山市での視察の様子

芳志会

所属議員 石川 保、水沼 孝夫

交付額 240,000円

支出額 240,000円

支出内容 視察研修

- ・「富山型デイサービス」の取り組みについて（NPO法人にぎやか）
- ・LRTの運営状況について（富山地方鉄道株式会社）
- ・水素リーダー都市プロジェクトについて（福岡県福岡市）
- ・タブレットから始まるICT化と開かれた議会（東京都）
- ・スマートエネルギー EXPO（東京都）

事務費

参考図書



▲福岡市での視察の様子



設楽 崇之さん
(下延生)

目指せ！魅力ある農業

新規就農して農業に従事し、はや5年がたちましたが、以前から掲げていた目標のスタートラインにやっと立てるように思います。

1反あたりの収量をあげることはもちろんですが、持続的かつ安定的な経営でなければなりません。また作業に費やす時間が多大で、重労働もあり労働生産性の低さが目立つこともあると思います。家族も農業労働に加え、家事・育児さらには介護などの労働過重で、適正な労働の評価ができない部分もあるのではないのでしょうか。

初期投資を抑えることはもちろん、省力化・効率化を図り、生産性を上げなければ農業の魅力は損なわれ、若い担い手はさらに減少していくのではないのでしょうか。



藤 和子さん
(八ツ木)

忘れないで

私は、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に災害の少ない町と聞き、芳賀町に引っ越してきました。暮らし始めて早いもので4年がたとうとしています。

見知らぬ町での生活に最初は戸惑いや不安がありましたが、芳賀町の方々はとても親切に接してくださいました。今ではとても快適に暮らしています。

ですが忘れないでください。いつ、どこで災害が起こるかわかりません。

「天災は忘れた頃に来る」寺田寅彦博士が関東大震災後に書いた有名な警句です。普段から防災について関心を持ち、災害時の家族の連絡方法・避難場所の確認・非常食の準備、そして身の回りに危険箇所がないか改めて見直してみたいはいかがでしょうか。

また、最新技術のドローンは、人が立ち入りにくい災害現場の状況確認と迅速な救助と処置が可能になります。近い将来芳賀町でも必要になってくるのではないのでしょうか。



齋藤 裕美さん
(東水沼)

子育て支援に感謝！

芳賀町では、子育て支援に力を入れてくださっていて、「18歳までの医療費無料化」や「学校給食費の補助」など他の市町ではないようなものから、その他様々な助成があり子育て中の私たちにとって、とても有難い事だと思っております。

また、学校施設はとてもきれいで、冷暖房完備という恵まれた環境の中で勉学に励むことができる子どもたちはとても幸せなことだと感じております。

町外に住む友人にも「芳賀町っていいよね。」と言われることが多く、その度に芳賀町で子育てできることに誇りを感じております。

しかし、このような恵まれた環境にいる子どもたちを見てみると「学力低下」や「運動能力の低下」が深刻な問題になっており、これからはそれらの問題にも力を入れていかなければなりません。

これからも、子育て中の親と子どもたちに寄り添った町の政策に期待しております。

議会日誌

2月

- 1日・芳賀中生徒会模擬議会
- 2日・定例監査
- 7日・芳賀赤十字病院移転新築起工式
- 10日・高根沢町議会視察来庁
- 14日・消防委員研修（～15日）
- 16日・議員全員協議会
- 17日・県議長会研修会議、地域包括支援センター運営協議会
- 19日・舞踊まつり
- 20日・例月現金出納検査、芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査
- 21日・農業委員との懇談会
- 22日・議会運営委員会
- 27日・芳賀中部上水道企業団定例会 芳賀郡中部環境衛生事務組合議会定例会
- 28日・国保運営協議会

3月

- 1日・芳賀地区広域行政事務組合定例会
- 2日・平成29年第1回芳賀町議会定例会（～16日）、議会広報常任委員会
- 6日・議員全員協議会
- 9日・中学校卒業式
- 11日・公民館大会、生涯学習まつり
- 17日・小学校卒業式
- 21日・例月現金出納検査、芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査
- 22日・真岡消防署茂木分署竣工式
- 24日・町農業公社理事会、町政功労者表彰式
- 27日・交通まちづくりシンポジウム
- 28日・芳賀台地土地改良区総代会
- 29日・町子ども子育て会議

4月

- 1日・認定こども園のぶ幼稚園竣工式
- 2日・町消防団歓送迎会
- 3日・町職員辞令交付式
- 6日・議会広報常任委員会
- 10日・中学校入学式、町体育協会監査
- 11日・小学校入学式
- 13日・町奨学生選考委員会、議会広報常任委員会
- 15日・町体育協会定期総会
- 19日・町教育会定期総会、議会広報常任委員会
- 20日・例月現金出納検査、芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査、町農業再生協議会

増淵議長に功労表彰



平成29年2月8日、全国町村議会議長会から増淵さつき議長が表彰されました。

増淵議長は町村議会議員として、議会の運営及び地域の振興発展に特に顕著な功労があったとしてその功績がたたえられました。



編集室

東日本大震災が平成23年3月11日に発生して6年が経過しました。風評と風化が同時に進行しているのではないかとの声も聞かれます。被災された方の中には、いまだに仮設住宅で生活を続ける家族、各地に避難をしながら避難生活している家族もいます。避難者は全国で約12万人、本県への避難者は2900人で、その大半は福島県からの人たちです。早く避難指示が解除され「ふるさと」に戻ることができる

よう願いたいと思います。

自然災害は、いつ起こるかわかりません。防災について常に心がけ、行政及び地域の皆さんと連携し、減災につなげるようにしたいものです。

議会広報常任委員会では、町民の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

（議会広報常任委員会

委員 岡田 年弘）

■議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大根田周平 |
| 副委員長 | 大根田 弘 |
| 委員 | 岡田 年弘 |
| 委員 | 増淵さつき |
| 委員 | 杉田貞一郎 |



▲ツール・ド・とちぎ 赤羽光次氏（芳志戸）撮影